



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ツムラ 上場取引所 東
 コード番号 4540 URL https://www.tsumura.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 北村 誠 (TEL) 03-6361-7100
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	192,615	6.4	35,219	△12.2	40,036	△5.7	28,117	△13.3
2025年3月期	181,093	20.1	40,125	100.5	42,446	80.7	32,428	94.1

(注) 包括利益 2026年3月期 40,547百万円(△10.1%) 2025年3月期 45,099百万円(64.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	376.28	—	9.0	7.6	18.3
2025年3月期	427.15	—	11.4	9.5	22.2

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	592,766	371,603	54.3	4,315.88
2025年3月期	464,380	330,110	64.7	3,968.05

(参考) 自己資本 2026年3月期 321,729百万円 2025年3月期 300,530百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	24,718	△50,309	32,603	78,261
2025年3月期	33,823	△24,974	△19,871	73,135

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	68.00	—	68.00	136.00	10,393	31.8	3.6
2026年3月期	—	68.00	—	79.00	147.00	11,067	39.4	3.6
2027年3月期(予想)	—	79.00	—	79.00	158.00		45.4	

(注) 1. 配当金総額には、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託に対する配当金支払額(2025年3月期は80百万円、2026年3月期は123百万円)を含んでおります。

2. 2026年3月期における1株当たり期末配当金については、76円00銭から79円00銭に変更しております。詳細については、2026年5月13日公表いたしました「剰余金の配当(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	102,500	14.0	17,200	0.5	16,400	△0.1	11,100	△11.0	148.90
通期	213,600	10.9	37,500	6.5	35,500	△11.3	26,200	△6.8	351.46

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) 上海虹橋中薬飲片有限公司、除外 -社(社名)

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(当連結会計年度における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	76,758,362株	2025年3月期	76,758,362株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期	2,212,906株	2025年3月期	1,020,752株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2026年3月期	74,723,525株	2025年3月期	75,918,890株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、役員報酬BIP信託及び株式付与ESOP信託を導入しております。これに伴い、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の連結業績は、以下のとおりとなりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	前期 (2025年3月期)	当期 (2026年3月期)	対前期増減額 (増減率)
売上高	181,093	192,615	+11,521 (+6.4%)
国内事業	160,459	161,172	+712 (+0.4%)
中国事業	20,633	31,442	+10,809 (+52.4%)
売上原価	90,509	101,098	+10,588 (+11.7%)
販売費及び一般管理費	50,458	56,296	+5,838 (+11.6%)
営業利益	40,125	35,219	△4,905 (△12.2%)
国内事業	40,136	35,024	△5,112 (△12.7%)
中国事業	△10	195	+206 (-)
経常利益	42,446	40,036	△2,410 (△5.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	32,428	28,117	△4,311 (△13.3%)

売上高は、前連結会計年度と比べ6.4%増加し、192,615百万円となりました。

国内事業の売上高は、前連結会計年度と比べ0.4%増加し、161,172百万円となりました。医療用漢方製剤129処方の売上高は、前連結会計年度と比べ0.1%減少し153,918百万円となりました。

感染症の流行が想定より早期に収束したことにより、第3四半期末の流通在庫が高水準となっていた影響に加え、第4四半期の感染症関連処方の実売が前年を下回ったことで、当連結会計年度の出荷は前連結会計年度を下回りました。

なお、実際の需要である実売数量（医薬代理店・卸から医療機関への納入）は限定出荷解除後のe-プロモーションとMR活動を融合したハイブリッド型の情報提供活動により、浮腫や頭痛・めまいや不安・不眠等に関連する処方が伸長した結果、前連結会計年度と比べて2.0%増加しました。

[育薬・Growing処方の売上高]

(単位：百万円)

	売上 順位	製品No. / 処方名	2024年度	2025年度	前年同期比		参考：実売数量 前年比
育薬処方 ※1	1	100 大建中湯	14,769	14,688	△81	△0.5%	+1.9%
	2	54 抑肝散	11,147	11,053	△93	△0.8%	+2.6%
	5	43 六君子湯	7,199	7,205	+6	+0.1%	+0.7%
	7	107 牛車腎気丸	5,583	5,623	+40	+0.7%	+3.1%
	24	14 半夏瀉心湯	1,464	1,546	+81	+5.6%	+5.7%
育薬処方合計			40,163	40,117	△45	△0.1%	+2.1%
Growing 処方 ※2	3	17 五苓散	7,376	8,338	+962	+13.0%	+15.0%
	4	41 補中益気湯	7,597	7,451	△146	△1.9%	△1.4%
	9	24 加味逍遙散	4,917	5,043	+125	+2.6%	+2.6%
	18	137 加味帰脾湯	2,238	2,405	+166	+7.5%	+7.1%
	19	108 人參養榮湯	2,234	2,107	△126	△5.7%	△2.5%
Growing処方合計			24,364	25,346	+982	+4.0%	+6.4%
育薬・Growing処方以外の119処方合計			89,545	88,454	△1,090	△1.2%	+0.9%
医療用漢方製剤129処方合計			154,072	153,918	△154	△0.1%	+2.0%

また、国内事業のヘルスケア製品（一般用漢方製剤等）の売上高は、取り扱い店舗数が拡大したことにより、前連結会計年度と比べ17.4%増加し、6,206百万円となりました。

中国事業の売上高は、上海虹橋中薬飲片有限公司の連結に加え、平安津村薬業有限公司、深セン津村薬業有限公司等における原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売が伸長したことにより、前連結会計年度と比べ52.4%増加し、31,442百万円となりました。

売上原価率は、日本国内における原料生薬在庫の戦略的な積み増しによる一時的なコストの増加と上海虹橋中薬飲片有限公司の連結等により、前連結会計年度と比べ、2.5ポイント上昇し、52.5%となりました。

販売費及び一般管理費は、主に給料諸手当や情報提供活動の強化にともなう費用およびDX関連費用の増加と上海虹橋中薬飲片有限公司の連結の影響により、前連結会計年度と比べ11.6%増加し、56,296百万円となり、販管費率は前連結会計年度と比べ1.3ポイント上昇し、29.2%となりました。

以上の結果、営業利益は、前連結会計年度と比べ12.2%減少し35,219百万円となり、営業利益率は前連結会計年度と比べ3.9ポイント低下し、18.3%となりました。経常利益は、前連結会計年度と比べ5.7%減少し、40,036百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度と比べ13.3%減少し28,117百万円となりました。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン収載を目指す処方

[限定出荷の状況について]

医療用漢方製剤129処方について、2025年4月11日に全処方を解除しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりであります。

当連結会計年度末における資産合計は592,766百万円で、前連結会計年度末に比べ128,385百万円の増加となりました。流動資産は、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加等により、前連結会計年度末に比べて53,502百万円の増加となりました。固定資産は、有形固定資産、のれんによる無形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて74,883百万円の増加となりました。

負債合計は221,162百万円で、前連結会計年度末に比べて86,892百万円の増加となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金、1年内返済予定の長期借入金の増加等により前連結会計年度末に比べて21,344百万円の増加となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により、前連結会計年度末に比べて65,547百万円の増加となりました。

純資産合計は371,603百万円で、前連結会計年度末に比べて41,493百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて12,654百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益、為替換算調整勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べて8,544百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて20,295百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は10.4ポイント減少して、54.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、78,261百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,126百万円増加しました。当連結会計期間のキャッシュ・フローの状況と、前年同期に対するキャッシュ・フローの増減は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、24,718百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前当期純利益41,036百万円、売上債権の減少額6,105百万円、棚卸資産の増加額20,511百万円であります。前年同期との比較で

は、9,104百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、50,309百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出32,780百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出14,764百万円であります。前年同期との比較では、25,334百万円支出が増加しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、32,603百万円の収入となりました。主な内訳は、短期借入れによる収入48,368百万円、長期借入れによる収入53,408百万円、短期借入れの返済による支出54,340百万円、配当金の支払額10,299百万円であります。前年同期との比較では、52,474百万円収入が増加しております。

(4) 今後の見通し

2027年3月期の業績予想につきましては、売上高は主に国内医療用漢方製剤の販売数量増加に加え、中国事業の伸長により213,600百万円を見込んでおります。このうち中国事業の売上高は46,000百万円を見込んでおります。利益につきましては、主に人件費の増加に加え副原料および資材コストの上昇などの影響があるものの、売上高増加および上海虹橋中薬飲片有限公司の連結取込分が通期で寄与すること等により、営業利益は37,500百万円(6.5%増)となる見込みです。また、前連結会計年度では為替差益が計上されたため、経常利益は35,500百万円(11.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は26,200百万円(6.8%減)を見込んでおります。

国内事業においては、製品の安定供給体制の強化や将来の漢方市場の持続的拡大を目指し、今期においても設備投資、研究開発、情報提供活動に対して重点的に資金を投入いたします。設備投資に関しては、生産能力増強や生産性向上を目的とした積極的な投資を実施いたします。研究開発に関しては、漢方治療の標準化拡大のためのエビデンス構築、最先端技術による漢方の個別化治療への取り組み、一人ひとりのライフステージにあった健康への貢献(治療・未病・養生(予防))に関する研究を強化してまいります。情報提供活動については、医療ニーズの高い処方に対するプロモーションの強化により漢方治療の標準化を推進するとともに、診療領域ごとの基本的な医療用漢方製剤を処方する医師の増加を目指した個別化治療を推進いたします。また、情報提供のDX化により、医療従事者一人ひとりがいつでも必要な情報を取得できる体制づくりに取り組んでまいります。

中国事業においては、生薬プラットフォームにおける原料生薬、飲片(刻み生薬)の販売を拡大するとともに、製剤プラットフォームにおける中成薬事業展開を目的とした古典処方の研究開発や中成薬企業との協業を含む市場開拓活動等に取り組んでまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
翌連結会計年度 2027年3月期 (増減率)	213,600 (10.9%)	37,500 (6.5%)	35,500 (△11.3%)	26,200 (△6.8%)

(5) 当期・次期の配当

2026年3月期の親会社株主に帰属する当期純利益が2025年11月10日公表の業績予想から増加したため、配当予想DOE 3.6%を維持し、年間配当金を1株あたり3円増配の147円(中間配当金68円、期末配当金79円)となる予定です。

また、2027年3月期の配当予想につきましても、当社のDOEを指標とした株主還元方針(2031年度に目指す水準：DOE 5%)に基づき、DOE 3.6%水準を維持し、1株あたり158円(中間配当金79円、期末配当金79円)を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,227	84,079
受取手形及び売掛金	68,017	72,250
商品及び製品	14,939	24,262
仕掛品	20,197	25,115
原材料及び貯蔵品	98,647	114,629
その他	21,006	29,347
貸倒引当金	△325	△471
流動資産合計	295,709	349,212
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	100,818	118,939
機械装置及び運搬具	79,770	89,362
工具、器具及び備品	16,685	18,762
土地	10,810	11,975
建設仮勘定	41,344	60,290
その他	897	920
減価償却累計額	△122,080	△133,311
有形固定資産合計	128,246	166,940
無形固定資産		
のれん	8,512	17,665
その他	9,729	32,716
無形固定資産合計	18,241	50,381
投資その他の資産		
投資有価証券	10,276	7,478
退職給付に係る資産	5,328	6,603
繰延税金資産	847	1,290
その他	5,730	10,860
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	22,182	26,231
固定資産合計	168,670	243,553
資産合計	464,380	592,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,314	31,534
短期借入金	5,285	3,329
1年内返済予定の長期借入金	—	9,377
未払金	12,144	13,242
未払法人税等	7,577	5,491
従業員株式給付引当金	908	—
役員株式給付引当金	306	—
その他	11,378	20,283
流動負債合計	61,913	83,257
固定負債		
社債	45,000	45,000
長期借入金	20,051	77,454
長期未払法人税等	240	192
繰延税金負債	202	3,401
再評価に係る繰延税金負債	1,214	1,214
退職給付に係る負債	597	586
従業員株式給付引当金	—	564
役員株式給付引当金	—	165
その他	5,051	9,325
固定負債合計	72,357	137,904
負債合計	134,270	221,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	13,749	13,473
利益剰余金	229,202	247,010
自己株式	△3,242	△8,120
株主資本合計	269,852	282,506
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,690	3,531
繰延ヘッジ損益	240	5,678
土地再評価差額金	2,638	2,638
為替換算調整勘定	23,533	26,071
退職給付に係る調整累計額	574	1,302
その他の包括利益累計額合計	30,677	39,222
非支配株主持分	29,579	49,874
純資産合計	330,110	371,603
負債純資産合計	464,380	592,766

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	181,093	192,615
売上原価	90,509	101,098
売上総利益	90,583	91,516
販売費及び一般管理費	50,458	56,296
営業利益	40,125	35,219
営業外収益		
受取利息	628	573
受取配当金	386	299
為替差益	1,176	5,752
補助金収入	562	305
その他	314	383
営業外収益合計	3,067	7,313
営業外費用		
支払利息	518	1,052
シンジケートローン手数料	—	1,100
その他	227	344
営業外費用合計	746	2,497
経常利益	42,446	40,036
特別利益		
固定資産売却益	9	1
投資有価証券売却益	3,239	2,193
特別利益合計	3,248	2,194
特別損失		
固定資産売却損	2	243
固定資産除却損	100	172
投資有価証券評価損	32	499
関係会社出資金評価損	—	141
本社移転費用	—	136
特別損失合計	135	1,194
税金等調整前当期純利益	45,559	41,036
法人税、住民税及び事業税	10,630	10,763
法人税等調整額	404	30
法人税等合計	11,035	10,793
当期純利益	34,523	30,242
非支配株主に帰属する当期純利益	2,095	2,125
親会社株主に帰属する当期純利益	32,428	28,117

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	34,523	30,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,219	△159
繰延ヘッジ損益	△1,087	5,437
土地再評価差額金	△34	—
為替換算調整勘定	13,055	4,297
退職給付に係る調整額	861	728
その他の包括利益合計	10,575	10,304
包括利益	45,099	40,547
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	39,611	36,661
非支配株主に係る包括利益	5,487	3,885

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	13,739	205,804	△2,378	247,307
当期変動額					
剰余金の配当			△9,030		△9,030
親会社株主に帰属する 当期純利益			32,428		32,428
自己株式の取得				△912	△912
自己株式の処分		10		48	59
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	10	23,398	△863	22,545
当期末残高	30,142	13,749	229,202	△3,242	269,852

	その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,910	1,328	2,673	13,870	△287	23,494	24,562	295,364
当期変動額								
剰余金の配当								△9,030
親会社株主に帰属する 当期純利益								32,428
自己株式の取得								△912
自己株式の処分								59
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動								—
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△2,219	△1,087	△34	9,663	861	7,182	5,017	12,199
当期変動額合計	△2,219	△1,087	△34	9,663	861	7,182	5,017	34,745
当期末残高	3,690	240	2,638	23,533	574	30,677	29,579	330,110

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	13,749	229,202	△3,242	269,852
当期変動額					
剰余金の配当			△10,309		△10,309
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,117		28,117
自己株式の取得				△6,130	△6,130
自己株式の処分		60		1,252	1,313
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動		△336			△336
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	－	△275	17,807	△4,877	12,654
当期末残高	30,142	13,473	247,010	△8,120	282,506

	その他の包括利益累計額						非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,690	240	2,638	23,533	574	30,677	29,579	330,110
当期変動額								
剰余金の配当								△10,309
親会社株主に帰属する 当期純利益								28,117
自己株式の取得								△6,130
自己株式の処分								1,313
非支配株主との取引に係 る親会社の持分変動								△336
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△159	5,437	－	2,537	728	8,544	20,295	28,839
当期変動額合計	△159	5,437	－	2,537	728	8,544	20,295	41,493
当期末残高	3,531	5,678	2,638	26,071	1,302	39,222	49,874	371,603

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	45,559	41,036
減価償却費	10,620	12,291
のれん償却額	550	770
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△11	28
受取利息及び受取配当金	△1,014	△872
支払利息	518	1,052
有形固定資産除売却損益 (△は益)	93	367
売上債権の増減額 (△は増加)	434	6,105
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△9,646	△20,511
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,919	2,250
シンジケートローン手数料	—	1,100
本社移転費用	—	136
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△3,239	△2,193
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△411	△326
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	536	△27
投資有価証券評価損益 (△は益)	32	499
関係会社出資金評価損	—	141
その他	△7,646	△4,316
小計	39,296	37,533
利息及び配当金の受取額	992	855
利息の支払額	△529	△1,047
法人税等の支払額	△5,936	△12,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	33,823	24,718
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	1	△5,189
有形固定資産の取得による支出	△27,591	△32,780
有形固定資産の売却による収入	20	9
無形固定資産の取得による支出	△2,203	△1,596
無形固定資産の売却による収入	1	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△3,371	△3,329
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	8,414	8,316
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	70	69
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△14,764
その他	△315	△1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,974	△50,309

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	26,610	48,368
短期借入金の返済による支出	△31,638	△54,340
長期借入れによる収入	10,674	53,408
長期借入金の返済による支出	—	△395
社債の償還による支出	△15,000	—
シンジケートローン手数料の支払額	—	△1,100
自己株式の取得による支出	△912	△6,130
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,686
配当金の支払額	△9,021	△10,299
非支配株主への配当金の支払額	△523	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△776
その他	△60	1,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,871	32,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,122	△1,886
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,899	5,126
現金及び現金同等物の期首残高	78,034	73,135
現金及び現金同等物の期末残高	73,135	78,261

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当連結会計年度において、当社の連結子会社である津村（中国）有限公司が、上海虹橋中薬飲片有限公司の51%の持分を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

2025年6月18日開催の当社取締役会において、当社の連結子会社である津村（中国）有限公司（以下「津村（中国）」という）が、上海虹橋中薬飲片有限公司（以下「虹橋飲片」という）の51%の持分を取得するために、持分譲渡契約を締結することを決議いたしました。このたび、持分取得および連結の手続きが完了し、虹橋飲片は当社の連結子会社となりました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 上海虹橋中薬飲片有限公司
事業の内容 薬品生産、薬品卸売、中薬飲片代理煎じサービス、技術サービス提供、
企業管理等

② 企業結合を行った主な理由

当社グループの中国事業のビジョンとして「中国国民の健康への貢献」を掲げ、製剤（原料生薬を製剤化した中成薬の製造・販売の機能）、生薬（原料生薬・飲片・大健康製品などの製造・販売の機能）、研究（生薬の種苗から最終製品まで、すべてのサプライチェーンにおける品質標準策定の機能）の3つのプラットフォームで事業を展開しております。

今回の持分取得は、生薬プラットフォームの事業展開を目的としております。虹橋飲片は、上海の飲片業界でも有数の企業の一つです。虹橋飲片の販売力と、当社の生薬トレーサビリティ体制やエビデンス構築研究、一人一方の製造技術などのノウハウ・経験を活かし、虹橋飲片の製品品質を高め、品質の可視化などを通じて患者様の利便性の向上を図るとともに、同社事業を通じて「中国国民の健康への貢献」を目指してまいります。

③ 企業結合日

2025年8月8日（みなし取得日 2025年6月30日）

④ 企業結合の法的形式

持分の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した持分比率

51%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

津村（中国）が現金を対価として51%の持分を取得したためです。

(2) 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

2025年7月1日から2025年12月31日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金（未払金を含む）	23,837百万円
取得原価		23,837百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 35百万円

(5) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん

8,768百万円

中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了しておらず、暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度末に取得原価の配分が確定しております。

② 発生原因

取得原価が企業結合時における時価純資産額を上回ったため、その差額をのれんとして認識したものです。

③ 償却方法及び償却期間

20年間にわたる均等償却

(6) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	19,052	百万円
固定資産	31,094	百万円
資産合計	50,147	百万円
流動負債	8,766	百万円
固定負債	12,458	百万円
負債合計	21,224	百万円

(7) のれん以外の無形固定資産に配分された金額及びその種類別の内訳並びに償却期間

主な種類別の内訳	金額	加重平均償却期間
顧客関連資産	21,011 百万円	25.5年

(8) 企業結合が当連結会計年度の開始の日に完了したと仮定した場合の当連結会計年度の連結損益計算書に及ぼす影響の概算額及び算定方法

売上高	19,045	百万円
営業利益	1,464	百万円
経常利益	1,347	百万円

(概算額の算定方法)

企業結合が連結会計年度開始の日に完了したと仮定し、被取得企業の損益計算書を基礎として影響の概算額を算定しております。

なお、当該注記は監査証明を受けておりません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	3,968.05円	4,315.88円
1株当たり当期純利益金額	427.15円	376.28円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当連結会計年度末 (2026年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	330,110	371,603
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	29,579	49,874
(うち非支配株主持分(百万円))	(29,579)	(49,874)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	300,530	321,729
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	75,737	74,545

(2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	32,428	28,117
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	32,428	28,117
普通株式の期中平均株式数(千株)	75,918	74,723

3 役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております(当連結会計年度238,075株、前連結会計年度131,198株)。また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当連結会計年度190,962株、前連結会計年度134,366株)。

4 株式付与ESOP信託が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式数に含めております(当連結会計年度506,292株、前連結会計年度452,507株)。また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(当連結会計年度495,536株、前連結会計年度459,059株)。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。